



夏の特別貸出について

通常より多く長く本を借りられます

期間：～8/29（期間中は何回でも借りられます）

貸出冊数上限10冊まで

返却日：期間中借りた本はすべて

9/4(月)に返却



★ただし、8/22以降に借りた本は借りた日の2週間後まで借りていただけます



夏休み中の開館日



★開館日 7/20～7/31 および8/18～8/29(土日除く)

★開館時間 8:15～17:00

本の貸出・返却と自習ができます



新着図書より おすすめの本

『グレイス・イヤー』

キム・リグgett
ガーナー郡に住む16歳のすべての少女は、危険な魔力を持つとされ、森の奥のキャンプへ一年間追放される。少女ティアニーが、謎に包まれた通過儀礼〈グレイス・イヤー〉でのサバイバルの果てに見た真実とは。

『ポタニカ』 朝井まかて

日本植物学の父・牧野富太郎。愛すべき天才の情熱と波乱の一生。NHK朝の連続ドラマ「らんまん」主人公のモデルとなった牧野富太郎の、植物学に捧げた生涯を描いた長編小説。（ドラマの原作ではありません）

『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈

「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。M-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬。勢いのある青春小説。

『ものがわかるということ』

養老孟司

「確実なことを探したいから常に疑う姿勢を持っているのです」（本文より）ものの見方や考え方について、脳と心の関係、意識の捉え方について解説したエッセイ。

『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』

大前粟生

“男らしさ” “女らしさ” のノリが苦手な大学2年生の七森。ぬいぐるみと話すサークル“ぬいサー”の、生きにくく、どうしても鈍くはなれない若者たちの物語。映画化もされました。